

# 福岡フォーラム特別委員会



## ■委員長スローガン

『楽しみながら挑戦！己に自信を持つために。』

## ●基本方針

ここ福岡の地で2004年JCI世界会議が行われ、2009年九州地区大会が大盛況のうちに終わりました。この2大会の成功は、福岡が持つポテンシャルの高さと福岡JCが持つバイタリティの豊かさの証明でもありました。そしてその経験を基に本年度、福岡フォーラムという新たな学び、そしてお役立ちの場を得ることができました。福岡フォーラムでは、福岡青年会議所メンバー全員がひとつとなり各委員会の役割を最大限発揮できるように、準備から運営にわたるまでまとめ役としての役割を当委員会が担ってまいります。

長らく景気低迷の中で、将来が見えない時代背景。そして政治混迷による国家間摩擦など不安要素ばかりが目立つ時代に、我々若人が何をしたらまちは元気になれるか、今の時代に何に自信を持てば次なる挑戦ができるかをしっかりと模索し、まちのため市民のために実践していきます。また公益法人制度も意識する環境の中で、JAYCEEの行動は少しずつ結果も問われてまいります。理念に基づいてメンバー1人1人が自信を持った行動、そしてその自信が周りを変えていくことを喜びに変えてエネルギーに活動していきましょう。

JC活動は「出会い」から「縁」ができ、そして「継承」へと繋がっていきます。先輩方の挑戦があったからこそ、今の活動ができることに喜びを感じ、その誇りを胸に次なる世代への継承を創るべく、我々委員会メンバー各人が挑戦し、JC活動を楽しんでいく委員会といたします。

特別委員長 永江 貴 司  
副委員長 鈴木 大 輔  
総括幹事 矢田 拓 司  
運営幹事 河村 英 男  
会計幹事 福島 卓 誠  
広報幹事 武藤 誠  
(出向理事) 齊藤 兼一朗  
石川 貴 浩  
岡本 虎 丸  
具島 秀 男  
瀬口 正  
田中 慎 介  
知名 健太郎定信  
堤 純 子  
富永 泰 輔  
中田 茂  
林田 暁 紀  
深野 継 介  
藤野 優 寿  
初井 公 貴  
吉田 善 太 郎  
吉永 大 祐

## ●事業計画

### ◇福岡フォーラムに関する事項

#### ◆メインフォーラムの企画・実施

〈目的〉メインフォーラムを通して、1人でも多くの人にアジアに目を向ける気付きを与え、挑戦することの大切さを発信する。「アジアに開かれた福岡」を見据えた内容を意識し、明るい豊かなまちづくりの推進を行う。

〈方法〉政治・経済・社会など様々な業界を分析し、その代表を講師としてお招きしたフォーラムを企画する。そして各種団体とのネットワークを通じ一般参加者への呼びかけ、今後へ繋がるフォーラムを実施する。

#### ◆各委員会との連絡・調整・統括

〈目的〉福岡フォーラムの円滑な運営、さらにアジアの中の福岡ならではの福岡フォーラムの実施を目指す。  
〈方法〉各委員会との連携を密にして調整を図り、関連する情報の集約とともにスケジュールや役割の調整など福岡フォーラムに関する事項を統括する。

#### ◆会場手配

〈目的〉対外との窓口を担うことで、福岡フォーラム全体を把握し円滑な運営に結びつける。

〈方法〉まずは会場の手配。その後各委員会との連携・調整の中で会場選定を行い、スムーズな運営および一般参加者の導線など会場に関する事項を統括する。

#### ◇ASPACに関する事項

〈目的〉ASPAC フィリピン - マニラ大会への参加促進

〈方法〉ASPACは国際規模大会のプログラム内容の理解やホスピタリティの学びなど数多くの経験ができる。福岡LOMナイトを設営し数多くのメンバーに参加促進を促すとともに、なかなか行くことのできない海外での思い出作りの一役を担う。

#### ◇会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉正全会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2010年					
11月			6月	□討議□審議□協議□審議 (メインフォーラム事業計画)	福岡フォーラム連絡会議 トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月		福岡フォーラム連絡会議 サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年					
1月		京都会議20日-23日	8月		福岡フォーラム連絡会議 入会審査(後期)
2月	□討議□協議□協議□協議 (福岡フォーラム 名称、スローガン、シンボルマークについて)	福岡フォーラム連絡会議 近出	9月	事業の実施(メインフォーラム事業)	福岡フォーラム連絡会議 福岡フォーラム事業実施9月24日 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (福岡フォーラム 名称、スローガン、シンボルマークについて)	福岡フォーラム連絡会議 第3エリア合同例会	10月		広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□審議□協議□審議 (福岡フォーラム 名称、スローガン、シンボルマークについて) □討議□協議□協議□協議(メインフォーラム事業計画)	福岡フォーラム連絡会議 入会審査(中期)、西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (メインフォーラム報告議案)	
5月	□討議□協議□協議□協議 (メインフォーラム事業計画)	福岡フォーラム連絡会議 ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月		送り出し 入会審査(前期) 送る夕べ



室長 大迫順平

## ●基本方針

アジアの拠点都市 Fukuoka を実現するために我々は何をすべきか—。

福岡アジア協働推進室は、この問いかけに答えるべく、あらゆる手段を通じて、調査研究を行い、行政や民間を巻き込みながら積極的な活動を進めていきます。

経済の発展、情報通信網の発達さらには格安航空会社の登場などで、アジアはどんどん身近なものになり、ボーダレス化が進んでいます。成長著しいアジアをひとつのマーケットとして積極的に仕掛ける都市や企業も少なくありません。そんな状況下で、誰もが“アジアに開かれたまち福岡には可能性がある”と口にしますが、まだまだ福岡は経済面、観光面、文化・スポーツ面など、どの分野においても、地の利などの優位さ、潜在力を生かしきれていません。このままでは国内外の他都市に水をあけられかねません。アジアの旺盛な活力をどう福岡に取り込み、どう生かすか。福岡の都市戦略に欠かせない緊急の課題であり、その点において、JC だからこそ出来る、JC にしか出来ない役割があるはずです。

先見の明なくして、福岡の未来は描けません。過去から学び、いまを分析し、未来を読む。福岡アジア協働推進室の2委員会が受け持つ「経済」と「誘客」は、いわば福岡が将来、拠点都市となるために欠かせない両輪の政策です。時代の先駆者となるために、2委員会が一体となって、世の中にアンテナを張り巡らして情報を収集します。その上で、アジアで最も魅力あふれる拠点都市 Fukuoka を実現させるために、既成概念にとらわれない、青年らしい大胆かつ自由な発想で、まちづくり事業にチャレンジします。



## ■委員長スローガン 『一点集中』

### ●基本方針

かつて、アジア太平洋子ども会議（以下、APCC という）の企画は、日本国内においても例のない事業だけに、政府からも、「何かあった時に国際問題になりかねない」と危惧をされ、話すら聞てくれる状況ではなかったそうです。それが、今では、福岡の財産として、確固たる地位を築いています。そんな APCC が今、あるのは、私たちの先輩方が、ただただ純粋に「自分たちの子供たちがいつか世界に羽ばたく日のために」という、その想い一点に集中して、事業に取り組んでこられたからだと感じています。前例にとらわれず、全ての物差しを投げ捨てて、自由な発想で、今の自分たちが何を求めているのか。次の世代に何を残していくのか、そういう気持ちを純粋に“強く”追求し、力をそこに集中させ、実現させていった当時の「福岡」は、世界的に見ても国際交流の先駆けだったのです。私たち福岡青年会議所には、それを創り出した DNA が流れているのです。

現在、アジア中の各都市が、観光面、税制面、教育面など様々な分野での、特区を打ち出し、急激な成長を遂げています。その成長を支えているのは、活発化する人的（物的）交流であることは間違いありません。アジアのゲートウェイとしての「福岡」も、独自の特区構想を打ち出してはおりますが、その構想は、はたして、今のアジアの中で通用するのか、また、実現できるのか、そのことを私たちは自分たちのことに置き換えて考えていく必要があります。どういう構想を描いたとしても、それを支える力が弱ければ時代は動いていきません。今、「福岡」が描こうとしているものを、より壮大なものにできるかできないかは、それを支えていく私たち若きビジネスリーダー一人ひとりの活発な人的（物的）交流が絶対に不可欠なのです。それは、私たち青年会議所が東アジアとの交流新時代（＝「協働」）に舵を大きく切ることが必要だということです。いま、第1回 APCC の時の子どもたちは、私たちと同じ世代で、各国でビジネスリーダーとして、活動を開始しています。また、青年会議所の組織もアジア中に点在しています。私たちを含む、アジアに点在している若きビジネスリーダーが、広くパートナーを求め、共に、「協働」のかたちを“強く”追求し合い、自らのフィールドを拡大していける、そんな枠組みを創り出す時代が求められているのです。

結びに、現在のボーダーレスな時代、組織を率いるリーダーは、高い知識と、広い見識を持ち、そして、日本という一國にとらわれない広いフィールドを創造できる力を持ち、先人たちの教えてくれた強い覚悟をもたなければいけません。私の考えるフィールドとは、自分の頭の中にあるものです。その広さは、無限大に広がるか広げないかは自分次第です。フィールドは、広げれば広いほど、言語の壁を超え、国境の枠も超え、たくさんのビジネスチャンスをつかむ機会を得ることができるはずですが、「福岡」のまちを形成する私たちは経済人です。私たちのフィールドの大きさを、アジアの中で、福岡の存在価値を示す指標であり、そのフィールドを生かしたビジネスパートナーシップを創出することで国際交流都市の先駆者である、「福岡」独自の「協働」のかたちを打ち出すことができる。今、私たちに、その力が求められており、私たちが、アジアの中の「福岡」の方向性を示していくのです。

### ●事業計画

- ◆東アジアとの関係構築による成長戦略の研究及び発信
  - 〈目的〉 海外企業の日本への進出（もしくは、日本企業の東アジアへの進出）の促進
  - 〈方法〉 海外（日本）進出もしくは販路拡大を狙うアジア中に点在している若きビジネスリーダーが、身近にパートナーシップを求めることができるかたちをつくる。
- ◆特区構想の研究及び発信
  - 〈目的〉 福岡市（県）の打ち出している特区構想の精査
  - 〈方法〉 東アジア主要都市の既存特区事業を調査・研究し、有識者の意見を踏まえ、効果等を検証する。また、アジアにおける若きビジネスリーダーが真に望む特区を追求する。
- ◆香港シティ JC に関する事項
  - 〈目的〉 設立 30 周年の香港シティ JC を盛大にお祝いするとともにビジネス協働プロジェクトを企画し、新たな友好関係のチャンネルを開拓する。
  - 〈方法〉 設立 30 周年を迎える香港シティ JC を盛大にお祝いするとともに、双方の周年行事を行き来し、交流を深める。また、今までの懇親を深める交流から、双方の技術、知恵、ネットワーク等をコラボレーションできるようなかたちを創造し、交流の新たなかたちを打ち出す。
- ◆福岡フォーラムに関する事項
  - 〈目的〉 アジアに開かれたまち福岡の可能性を探求する。
  - 〈方法〉 福岡フォーラム特別委員会と福岡アジア協働推進室とが連携をし、福岡青年会議所として打ち出す方向性を一点に集中させる。
- ◆会員拡大
  - 〈目的〉 アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させる為、多くの会員による JC のネットワーク構築を目指す。
  - 〈方法〉 全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事	上程スケジュール	行 事
2010年				
11月			6月	□討議□審議□協議□審議 (東アジア協働ビジネス事業計画・仮称)
12月			7月	7月度委員会 サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年				
1月		1月度委員会 京都会議20日-23日	8月	8月度委員会 入会審査(後期)
2月		2月度委員会(近出)	9月	9月度委員会、福岡フォーラム 仮称「東アジア協働ビジネス事業プロジェクトin 福岡」開催 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (東アジア協働ビジネス事業計画・仮称)	第3エリア合同例会 3月度委員会	10月	10月度委員会、やすらぎ荘JCキャンプ 広島定期交歓会(福岡) 世界会議(ルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□協議□協議□協議 (東アジア協働ビジネス事業計画・仮称)	入会審査(中期)、4月度委員会 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (東アジア協働ビジネスプロジェクト事業報告・仮称)
5月	□討議□協議□協議□協議 (東アジア協働ビジネス事業計画・仮称)	5月度委員会 ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月	12月度委員会(送り出し) 入会審査(前期) 送る夕べ



委員長 南部 秀 成  
 副委員長 永安 重 喜  
 総括幹事 徳永 竜太郎  
 運営幹事 岩瀬 達 郎  
 会計幹事 宮崎 敬 嗣  
 広報幹事 中村 智 海  
 (出向理事) 今崎 晋一郎  
 井村 仁 志  
 大穂 世嗣孝  
 小川 聖 剛  
 鬼木 誠  
 津田 真二  
 堀江 克尚  
 吉田 智博  
 渡辺 洋 祐

## ■委員長スローガン

『楽しく大胆にチャレンジ！目指すぞアジアの拠点都市』

## ●基本方針

古来よりアジアに開かれた都市として発展してきた福岡。現在においてもアジアの玄関口と言われ、交通の便も良く九州各県にもより早く行き来できる都市です。

だからこそ、ますます拡大するアジア諸国からの旅行者や定住希望者の受け皿としての役割も益々、重要になってきています。来春には九州新幹線が全線開通するほか、韓国でも釜山―ソウル間がKTX(新幹線)で直結されました。このチャンスを生かすためにも、福岡の強み、潜在的ポテンシャルを最大限に活用し、福岡独自のスタイルを確立する時がきました。既存概念にとらわれず、JCだからできるネットワークを生かし、そして共に夢へと挑戦し、アジア協働時代の構築に向け発信していきます。

委員会の皆さん、JCには平等なチャンスがあります。この1年間、元気に楽しく挑戦をし続けましょう。そうすればいつの間にか、今までにない成長と一生付き合える仲間が得られます。

## ●事業計画

### ◆国内外からの誘客増加を目的とする調査・研究及び発信

〈目的〉アジアの拠点都市Fukuokaを実現するために国内外からの観光客を増やすことを目指す。

〈方法〉誘客増加に積極的に行っている団体や行政、財界に協力を図り、調査、研究及び発信を行う。

### ◆釜山・ソウルミッションの企画・実施

〈目的〉ソウル＝釜山間を結ぶKTX、九州新幹線が開通したことを契機に、“Fukuoka”の名を韓国の人たちに広く知っていただくとともに、福岡JCのメンバーをはじめ、政財界の方々に、アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりが重要になってきたことを認識していただくことを目的とする。

〈方法〉釜山JCなど韓国のJCの協力を得ながら、釜山・ソウル間で直結されたKTX、ならびに九州新幹線の一体化を感じてもらおうとともに、福岡の地理的重要性を訴える。

### ◆トリオJCに関する事項

〈目的〉釜山JC、下関JCとの友好的交流を育む。

〈方法〉双方の周年事業に参加し、トリオ会議の交流内容などを議論し、お互いの理解と親睦を深める。またそれぞれの開催地での懇親会の設営およびメンバーへの参加の促進を行います。

### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉アジアに開かれたまち福岡の可能性を探求する。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と福岡アジア協働推進室とが連携をし、福岡青年会議所として打ち出す方向性を一点に集中させる。

### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるため、多くの会員によるJCのネットワーク構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新入会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月		トリオ会議(釜山)20日	6月	□討議□協議□協議□協議 (福岡フォーラム・誘客事業計画)	トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月	□討議□審議□協議□審議 (福岡フォーラム・誘客事業計画)	サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2010年					
1月		京都会議20日-23日	8月		入会審査(後期)
2月		近出	9月	事業実施(福岡フォーラム・誘客事業計画)	全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月		第3エリア合同例会	10月		広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月		入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (福岡フォーラム・誘客事業報告)	
5月	□討議□協議□協議□協議 (福岡フォーラム・誘客事業計画)	釜山・ソウルミッション ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日 ファミレク	12月		入会審査(前期) 送る夕べ



室 長 中 田 泰 平

## ●基本方針

『街の背景を活かした、エンターテインメント性溢れるコンテンツの創造』

文化的な価値観と国際的なアイデンティティを視野に入れた都市形成を行う事は、これからの福岡が独自性を持った国際都市に発展していく上で、非常に重要な要因と考えられます。そのためには、都市特有の背景を認識と地域特有の調和を図り、福岡が一体となるようなコンテンツを創造する必要があります。そこから、人々の心が躍り出すような都市の未来像を描き、アジアとの協働時代を見据えた国際都市像を発信しなければなりません。

エンターテインメントシティ創造室は、様々な視点から国際都市福岡にとって必要なコンテンツの創造を、福岡 JC としての強みを存分に活用できる手法から考え、各委員会の輝きを国内外に響き渡らせる事業を実施します。そして、福岡で暮らす人々や訪れる人々の心が躍り出す様な「エンターテインメント シティ FUKUOKA」の確立に向けた礎を築きます。



## ■委員長スローガン 『食通』

### ●基本方針

長引く経済の低迷や政治の混迷と共に、世界におけるわが国の地位が低下しているのは確かに周知の事実です。また、物事にはどちらが良いというような二元論では計りきれない問題も数多く、お互いの主張はぶつかり合い解決の糸口も見えない状況です。

それに伴い、海外文化のもてはやと相反して、日本文化の忘却や海外食文化の侵食など、日本の食文化の衰退の反比例も深刻です。

地域に特化した食文化の広告、更正により地域食文化の再認識、更に古きを知り新しいものへと繋がるようダイナミックに挑戦をしていく事が、青年会議所活動の醍醐味です。その中で、自己の可能性を広げたいと思います。

福岡 JC 事業の際、メンバー及び一般市民が集まる機会は多々あります。そこで、福岡の食文化は、多くの人たちの味覚を刺激するクオリティであることは周知の事実です。美味しい食は楽しい会話を生み、心の通いにもなってゆきます。食を通じて、集まったメンバー達と心の通じる交流を育みながら地域の食文化に触れて参ります。美味しい食を発信する事により、地域が活性化し、まちづくりに通じます。また、エンターテイメント性の高いプロジェクトに係ることで、様々な交流が生まれ、人間力を高めることとなり、ひとづくりに通じるものと考えます。

そして、和洋折衷など新しいものを創造する温故知新の信念で更なる日本の未来に繋げていきたいと思ひます。

### ●事業計画

#### ◆食を通じた地域活性化となる事業の実施

〈目的〉食文化を題材とした事業を実施することにより地域の活性化を目指す。

〈方法〉食文化を通じた地域活性化に貢献できるよう、食文化の重要性を発信できる企画にする。これまでの青年会議所事業などとのタイアップも視野に入れ、行政・市民を巻き込んだ事業を実施する。

#### ◆九州地区大会への参加促進

〈目的〉福岡 JC が地区大会を主管したことを踏まえて 2011 年に開催される地区大会に多くのメンバーで参加していくこと。

〈方法〉LOM ナイトの設営。例会、委員会訪問にて、参加依頼を行う。

#### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡フォーラムを通して、福岡 JC の運動を広く発信する事。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会の要請により、支援を行なう。

#### ◆エンターテイメントシティプロジェクトへの支援に関する事項

〈目的〉エンターテイメントシティプロジェクトによる地域の活性化

〈方法〉必要と思われるプロジェクトに対し、JCらしいサポートを行う

#### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員による JC のネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

委員長 守 隼 人  
副委員長 武 藤 仁 弥  
総括幹事 城 島 雄 樹  
運営幹事 藤 井 洋 介  
会計幹事 松 尾 健 太 郎  
広報幹事 才 田 洋 輔  
青 木 栄 憲  
栗 木 努  
住 吉 大 二 郎  
西 川 真 太 郎  
藤 林 秀 基  
本 多 利 行  
光 安 伸 之  
森 田 浩 文  
横 山 淳 一

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月			6月		実施準備 トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月		事業実施(食文化創造事業) サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2010年					
1月		京都会議20日-23日	8月		入会審査(後期)
2月		近出	9月		全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (食文化創造事業計画)	第3エリア合同例会	10月	□討議□審議□協議□審議 (食文化創造事業報告)	広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□協議□協議□協議 (食文化創造事業計画)	入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月		
5月	□討議□審議□協議□審議 (食文化創造事業計画)	ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26-29日	12月		入会審査(前期) 送る夕べ



## ■委員長スローガン 『やるしかなか！』

～大きな夢と高い志を持って～

### ●基本方針

福岡はエンターテインメント感覚が溢れる都市として、無限の可能性を秘めています。そしてアジアとの「協働の時代」と言われる今、福岡が都市として発展していくには、その質的に更なる魅力溢れるコンテンツが必要であります。福岡には国際的な大会も含めて、様々なスポーツ文化が存在しますが、スポーツを通じてアジアからの観光客を巻き込んでいるかと言えば、そう言い切れない現状があります。最近ではオリンピックやワールドカップなどを見るまでもなく、スポーツが海外観光誘客に結びつくのは常識となっています。我々JCは市民と共に「アジア」「誘客」「健康」をキーワードに時代の流れを最大限に活かしつつ、スポーツという切り口でまちづくりを考えます。

スポーツ文化創造委員会では、地理的・歴史的にアジアとのつながりが深い福岡という都市の背景を踏まえながら、自分たちが旗振り役となるんだという高い志をもってアジアを巻き込んだまちづくりに挑戦していきます。スポーツという分かりやすい媒体を通じて、福岡市民、福岡JC、行政、財界、そしてアジアなど、いろいろな意味で架け橋になれる委員会を目指します。

### ●事業計画

#### ◆スポーツを通じた地域活性化事業の実施

□アジアシティマラソン（仮称）の企画・実施

〈目的〉スポーツを通じたまちづくりを行うことで、地域の活性化を目指す。

〈方法〉市民が容易に理解・参加可能であり、国内外に伝えやすく、参加した全ての人々に感動を与えられ、なおかつアジアからの地の利を活かすことで誘客に結びつくような事業を創造していきます。

#### ◆福岡のスポーツ事業の支援に関する事項

〈目的〉スポーツを通じたまちづくりに対する支援

〈方法〉スポーツに関する相談の窓口となる。

#### ◆福岡ブロック大会への参加促進

〈目的〉福岡ブロック大会への参加促進。

〈方法〉例会・委員会訪問にて情報発信。

#### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡JCの運動を広く発信。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と調整を取りながら、積極的な運営支援。

#### ◆エンターテインメントシティプロジェクトへの支援に関する事項

〈目的〉エンターテインメントシティプロジェクトによる地域の活性化。

〈方法〉必要と思われるプロジェクトに対し、JCらしいサポートを行う。

#### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

委員長 金子孝行  
副委員長 武生悦一  
総括幹事 後藤義和  
運営幹事 田島敬悟  
会計幹事 高橋浩介  
広報幹事 税所政博  
伊瀬知晃  
大川陽子  
川崎慎吾  
児玉邦康  
後藤繁識  
末松崇  
立部光宝  
橋田和義  
増田成泰

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2010年					
11月			6月		トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月		サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年					
1月		京都会議20日-23日	8月		入会審査(後期)
2月		近出	9月		事業実施(予定) 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (スポーツ文化創造委員会議案)	第3エリア合同例会	10月		広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日(月)-11月6日(日)
4月	□討議□協議□協議□協議 (スポーツ文化創造委員会議案)	入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (スポーツ文化創造委員会報告議案)	
5月	□討議□審議□協議□審議 (スポーツ文化創造委員会議案)	ファミレク ASPAC:5月26日(木)~29日(日)	12月		送り出し 入会審査(前期) 送る夕べ



委員長 真木 智也  
 副委員長 中間 浩史  
 総括幹事 小杉 司  
 運営幹事 松永康隆  
 会計幹事 加藤 邦忠  
 広報幹事 橋本 久志  
 有働 健一郎  
 古賀 幹一良  
 財津 由香  
 高嶋 はる奈  
 津 福宣彰  
 布 巻 信吾  
 野 村 幸治  
 平 田 玲奈  
 牧 祐仁

## ■委員長スローガン 『“和”から生まれる感動を！』

### ●基本方針

国際的な都市間競争が激化する中、FUKUOKA がアジアの拠点都市として確固たるポジションを築くためには、誘客戦略の一環としてのエンターテインメント性高きコンテンツをいかに持ち得、いかに発信できるかが重要です。私は、芸術文化を創造するために、まずは日本人の根底にある“和”を掘り起こし、地域に根付かせることが必要と考えます。

「和をもって貴しと為す」という有名な文言が生まれたころから、幾千年の時代を経ても語り継がれることにおいて、日本は調和を内実として育んできた国と言えます。調和することを得意とする私達日本人にとって、地域に根ざした芸術・文化を表現する上においても、「和」の考え方が根本的な部分に関わりがあるのです。例えば、神社に必ずと言っていいように置かれている狛犬は、飛鳥時代に遠い国の見たことのない動物（獅子）を異国人から聞き入れ、犬と融合し、イマジネーションから守り主として創作し、文化として根付かせました。また、戦国時代の画家狩野永徳の作品に、春夏秋冬の季節を一枚の絵に収めた「花鳥図」という名画がありますが、春や夏といった価値観の異なる季節を調和することで、圧倒的な力動性を備えた独自の画を描き上げました。異なる性質のものを一定の秩序の元で創造し、オーケストラのような調和を奏でるところに和の思想の大本があるのです。

ホスピタリティとエンターテインメント感覚が高いと自負できる地域性を兼ね備えた FUKUOKA として、私は、人と人の「和」を以て興るムーブメントを大切に、芸術文化の創造を図り、発信することで地域の活性化に繋がりたいと思います。

まずは、委員会メンバーとお互いが「和」を感じながら、感動のフィナーレに辿りつくために邁進して参ります。

### ●事業計画

#### ◆芸術文化を通じた地域活性化となる事業の実施

〈目的〉 厳しい経済状況が続く、混沌とした時代だからこそ、芸術文化が持ち得るあらゆるカテゴリーからなる価値を地域として共有し、創造力を以て発信することで、地域が活性化することを目的とする。

〈方法〉 福岡の芸術文化の背景を認識した上で、あらゆる分野のトップアーティストから情報収集を行い、芸術が織り成す特有のプロパティと福岡の潜在的ポテンシャルを活かした地域参加型プロジェクトを引用し、福岡だからこそ出来る魅力あるアートコンテンツを創造する。

#### ◆全国大会への参加促進、LOM ナイト企画・実施

〈目的〉 第60回全国大会名古屋大会への多数参加、卒業生をはじめメンバーの思い出に残る懇親会を設営する。

〈方法〉 意義をメンバーに伝えて参加の促進を行い、卒業生にクローズアップして参加者全員でお祝いする。

#### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉 福岡 JC の運動を広く発信する。

〈方法〉 芸術文化の観点から福岡の可能性を引き出す講師を選定し、フォーラムを行う。

#### ◆エンターテインメントシティプロジェクトへの支援に関する事項

〈目的〉 エンターテインメントシティプロジェクトによる地域の活性化。

〈方法〉 必要と思われるプロジェクトに対し、JCらしいサポートを行う。

#### ◆会員拡大

〈目的〉 アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員による JC のネットワークの構築を目指す。

〈方法〉 全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月			6月		トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月		サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2010年					
1月		京都会議20日-23日	8月		入会審査(後期)
2月		近出	9月		事業実施(芸術文化創造議案事業) 福岡フォーラム事業実施9月24日 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (芸術文化創造議案)	第3エリア合同例会	10月		全国大会LOMナイト設営、広島定期交歓会(広島) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□協議□協議□協議 (芸術文化創造議案)	入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (芸術文化創造議案事業報告)	
5月	□討議□審議□協議□審議 (芸術文化創造議案)	ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26-29日	12月		入会審査(前期) 送る夕べ



室 長 岡 部 崇

## ●基本方針

アジア大陸にもっとも近いという地の利に恵まれた FUKUOKA は古くからアジアとの交流や歴史があり、アジアへの玄関口として発展してきました。

現在、世界経済の中でアジア経済の発展は著しく、国際的な都市間競争が激化しています。今後は、アジアを視野に入れた国内における都市間競争がより一層激しくなると思われ、こうした現実を前に更なる FUKUOKA の発展の為には、アジアとの協働時代の構築が非常に重要であり、必要不可欠であると考えます。

未来育成室では、各委員会が一丸となり、これまで培ってきたアジアとの「交流」を軸に「協働」というセカンドステージへ進む為の一助となるように発信し、行動していきます。アジアとの協働を見据え、世界の舞台で戦える国際人、経済人の育成とは何か、これからの未来を背負う青少年が将来の為、何を学び修得すべきかを様々な角度からの視点、観点から調査研究を行い、分析し「未来への人づくり」を既成概念にとらわれることなくダイナミックに挑戦します。

福岡青年会議所では、2004年の世界会議をはじめ、これまでに数多くの大会を誘致し、素晴らしい成功へと導いてきました。本年度は、伝統ある日本 JC ジャがいもクラブ第 40 回西日本地区大会を主管させていただきます。

ゴルフというマナーや礼儀を重んじるスポーツをとおして、西日本地区からお集まりになる OB や現役メンバーの皆様にご心から楽しんでいただくことは勿論ですが、この大会を福岡の地で開催できること成長の場、喜びとし、素晴らしい出会いの場の企画・運営を歓待の精神を持ち全力で取り組んで参ります。

公益社団法人取得に向けた動きの中、公益性ではありますが福岡青年会議所に長きにわたり根付く、親睦・交流文化を忘れてはなりません。「オールメンバー」、「送る夕べ」、「趣味の会」を通じてシニア会員と現役会員をつなぐ架け橋となるよう、枠にはまった企画や運営ではなく、原点を見つめ直すとともに真の親睦・交流とは何かを考え、参加する全ての方が楽しめる企画・運営を行ないながら常に新しいことに果敢にチャレンジし、一年間行動していきます。

# 未来育成室・国際人育成委員会



委員長 井上 誉 之  
 副委員長 近藤 大量  
 総括幹事 高原 信一  
 運営幹事 高橋 俊輔  
 会計幹事 峯元 秀爾  
 広報幹事 日高 史貴  
 (出向理事) 西 宏 史  
 安部 孝 則  
 貝塚 英 樹  
 坂野 直 樹  
 佐々木 誠二  
 岳 将 士  
 野田 孝 一  
 秦 勝 良  
 深川 隆 之

■委員長スローガン 『おもしろき こともなき世を おもしろく』  
 ～おもしろみを持って大胆な変革を～

## ●基本方針

日本 JC ジャがいもクラブ第 40 回西日本地区大会の円滑な大会運営を行い、西日本各地からお集まり頂く OB や現役メンバーの皆さんが楽しんで頂けるように、これまで受け継がれてきた福岡 JC のホスピタリティ精神溢れる大会にします。当委員会は大会本部として中心となり、大会全体を掌握し企画・実施を進めてまいります。

グローバル化が急速に進み、世界各国・各都市でアジア地域への取り込みが模索されています。時代の流れに取り残される事のないよう福岡 JC らしいアジアとの協働を見据え、世界の舞台で戦える国際人を育成する事業を実施します。

まずは、自分がおもしろみを見つけ楽しんで取り組まないことには何も始まりません。各事業を通じて共に悩み、共に切磋琢磨し、委員会メンバー各自が、おもしろみを見つけ、率先して事業に取り組む委員会を運営してまいります。

## ●事業計画

- ◆アジア協働を見据えた国際人育成事業の実施
  - 〈目的〉世界の舞台で戦えるグローバル感覚を持った人材の育成
  - 〈方法〉国際人とは、何を学び修得すべきかを調査研究し、産官学との連携をはじめ、ビジョンを共有できるパートナーと協働で国際人の育成事業を行います。
- ◆世界会議への参加促進
  - 〈目的〉世界会議ベルギー・ブリュセル大会への参加促進
  - 〈方法〉世界会議の大会プログラム紹介やベルギー（ブリュセル）の歴史や街を紹介し、参加意欲が沸き立つように世界会議の窓口として情報を発信します。
- ◆広島 JC との交流に関する事項
  - 〈目的〉広島 JC メンバーと福岡 JC メンバーの 30 年間続く定期交歓会で更なる交流を深める。
  - 〈方法〉福岡 JC メンバーへの参加促進を行うとともに、広島 JC の担当委員会との連携により、より多くのメンバーで交流が深められる交歓会を行います。交歓会に参加して頂いた方々の出会いが生産の財産となるように心を込めた設営を行います。
- ◆日本 JC ジャがいもクラブ西日本地区大会に関する事項
  - 〈目的〉日本 JC ジャがいもクラブ西日本地区大会へ来て頂いた方々に心から楽しんで頂く。
  - 〈方法〉大会本部として全体を統括し、円滑でホスピタリティ精神溢れる大会を企画・実施します。
- ◆趣味の会に関する事項
  - 〈目的〉野球を通じてメンバー間の交流を育む。
  - 〈方法〉素早い広報・おもしろい設営・円滑な運営と 3 拍子揃った第 3 エリア野球大会を主管させて頂きます。
- ◆福岡フォーラムに関する事項
  - 〈目的〉世界の舞台で戦えるグローバル感覚を持った人材の育成に関心を持って頂く。
  - 〈方法〉国際人育成事業報告により、国際化の現状と国際人の育成の重要性を発信します。
- ◆会員拡大
  - 〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員による JC のネットワークの構築を目指す。
  - 〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事	上程スケジュール	行 事
2009年				
11月			6月	トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月	サマコン(横浜)16日-17日 こども会議 国際人育成事業実施
2010年			8月	入会審査(後期)
1月	□討議□討議□討議□討議 (日本JCジャがいもクラブ西日本地区大会事業計画)	京都会議20日-23日	9月	全国大会(名古屋)9月29日-10月2日 福岡フォーラム事業実施
2月	□討議□協議□協議□協議 (国際人育成事業及びフォーラム事業計画)	近出	10月	□討議□審議□協議□審議 (国際人育成事業及びフォーラム事業報告)
3月	□討議□協議□協議□協議 (国際人育成事業及びフォーラム事業計画)	第3エリア合同例会	11月	広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□審議□協議□審議 (国際人育成事業及びフォーラム事業計画)	入会審査(中期) 西日本地区ジャがいも APCCチャリティゴルフ	12月	入会審査(前期) 送る夕べ
5月	□討議□討議□討議□討議 (日本JCジャがいもクラブ西日本地区大会事業報告)	ファミレク 第3エリア野球大会主管 ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日		

# 未来育成室・青少年育成委員会



## ■委員長スローガン

『自己の可能性を追求し、新たなステージへ果敢にチャレンジ!!』  
～共に歩み、共に成長し、共にやり遂げよう～

## ●基本方針

近年、アジアの拠点都市 FUKUOKA を目指して、官民とも活発な取り組みが行われてきた中で、福岡青年会議所は数多くの事業を実施した実績があります。特に、1989年に実施された「アジア太平洋こども会議・イン福岡」は、次世代を背負う青少年の「国際交流」事業であり、当時の参加者は22年経たずして現在青年となり、FUKUOKA との国際交流の懸け橋となって活躍されています。

青少年育成事業では、これまで培ってきたアジアとの「交流」を軸に、「協働」というセカンドステージへ進むの一助となる様に、特に将来のアジアとの協働時代を見据え、その次世代を担う現在の子供たちを育成する事を目的に事業を実施します。

オールメンバーの集いでは、58周年を祝う事は当然ながら、親睦・交流とは何かという観点から見つめ直し、既成概念にとらわれることなく、粋にはまらない企画・運営を心がけます。シニアメンバー、来訪 JC の皆様にもご臨席いただき、おもてなしの心をもってお迎えします。

1年間委員会メンバーと共に、過去を見つめ直し、自己の可能性を追求し、新たなステージへ果敢にチャレンジしていきます。

## ●事業計画

### ◆アジア協働を見据えた青少年育成事業の実施

〈目的〉「交流」から一歩踏み込んで「協働」へと政策をシフトし、アジアとの協働時代の構築を、将来への「ひとつくり」という視点から捉え、次世代を背負う青少年を育成することを目的とする。

〈方法〉「協働」とは、互いに同じ目的・目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること。アジアと協働、即ちアジア各国が共存共栄していく為に、次世代を背負う青少年に何を学ばせ、何を習得させるべきかを様々な視点・観点から調査研究を行った上で、事業を実施する。

### ◆オールメンバーの集いの企画・実施

〈目的〉福岡青年会議所の58周年を、より多くのシニアメンバーと現役メンバーが相集い、お祝いすると共に、交流を深める場を設営することを目的に企画・運営する。

〈方法〉周年事業として相応しい企画を実施する為に、当事業を実施する意義を再検証し、多くの情報を収集・発信する活動を行っていく。

### ◆シニアクラブに関する事項

〈目的〉シニア総会を開催し、前年度の会計報告ならびに本年度の活動内容をシニアメンバーに伝える。また、選暦を迎える26年生まれの先輩方を祝福すること。

〈方法〉シニア会長・シニア専務・シニア事務局長と調整をはかり、45年生と連携をとって企画・設営を行う。

### ◆日本JCじゃがいもクラブ西日本地区大会に関する事項

〈目的〉日本JCじゃがいもクラブ西日本地区大会へ来て頂いた方々に心から楽しんで頂く。

〈方法〉特に当委員会が担う事項「広報・渉外・宿泊」は実施前から最後まで関わる所務であり、細心の注意を払って「おもてなし」を行う。

### ◆趣味の会に関する事項

〈目的〉OBと現役メンバーが、趣味を通して交流をする事で親睦を深めていただくサポートを行う。

〈方法〉監督・キャプテンと調整をはかり、各会の運営補助を行う。ノーサイドクラブ・FJCPONZのサポート、ぼうふら会の運営補助(年4回実施)。

### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉アジアとの協働時代を見据え、次世代を背負う青少年を育成していく大切さを、参加者に訴えかけていく事を目的とする。

〈方法〉アジアと協働、即ちアジア各国が共存共栄していく為に、次世代を背負う青少年に何を学ばせ、何を習得させるべきかを様々な視点・観点から調査研究を行った上で、事業を実施する。

### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新入会員の促進を行う。

委員長 大久保 学  
副委員長 岩元 智彦  
総括幹事 大塚 拓也  
運営幹事 占部 歓久  
会計幹事 檜 崎 靖志  
広報幹事 手嶋 健太郎  
飯塚 輝幸  
石橋 知枝  
桐生 浩之  
黒木 淳司  
木場 茂  
菖蒲 徹秀  
藤澤 貴世香  
盛田 義隆  
吉川 和孝

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2010年					
11月			6月	□討議□審議□協議□審議 (青少年育成事業計画)	事業実施(オールメンバーの集い) トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月			7月		サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年					
1月		京都会議20日-23日	8月	□討議□審議□協議□審議(オールメンバーの集い)事業報告 □討議□審議□協議□審議(オールメンバーの集い)事前告知事業報告	入会審査(後期)
2月	□討議□審議□協議□審議(オールメンバーの集い)事前告知事業計画 □討議□協議□協議□協議(オールメンバーの集い)事業計画	シニア総会開催 近出	9月		全国大会(名古屋)9月29日-10月2日 事業実施(青少年育成事業)
3月	□討議□協議□協議□協議 (オールメンバーの集い)事業計画	第3エリア合同例会	10月		広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□審議□協議□審議(オールメンバーの集い)事業計画 □討議□協議□協議□協議(青少年育成事業計画)	入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (青少年育成事業報告)	
5月	□討議□協議□協議□協議 (青少年育成事業計画)	ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月		入会審査(前期) 送る夕べ

# 未来育成室・経済人育成委員会



## ■委員長スローガン

『仲間がいるから頑張れる！ともに成長していこう』

## ●基本方針

世界がグローバル化する中、我々が住む福岡を主体とした事だけに目を向けるのではなく、アジア全体とともに発展していく中で福岡が主役となりえる可能性を少しでも高める事が重要と考えます。

青年経済人でもある我々は、アジア経済にも目を向け、福岡がアジア経済とともに発展する事が重要な時代になる事を十分に自覚し、これからのアジア経済へ向けて活躍できる国際的な感覚を持った経済人育成に関する事業を展開してまいります。

「送る夕べ」では卒業生は人生の中でひとつの節目を迎えると同時に新しいステージへと向かわれる大切な時間です。そのことを意識し、荘厳、且つ卒業される46年生の方々に参加頂いた特別会員、正会員の皆様がいしっかりと想いを伝え合える雰囲気づくりに努めます。

「日本JC じゃがいもクラブ西日本地区大会」は40回を数える歴史ある大会です。我々は当日競技・運営に関し、厳格であるとともに歓待の精神を持って設営を行います。

趣味の会「じゃがいもクラブ」では特別会員と正会員がゴルフを通じ、交流する場です。設営の中で交流する場を数多く作るによりさらなる交流が図れるように努めます。

委員会メンバーとともに一年間、さまざまなことに学びを得ながら、成長していくとともに仲間の大切さをとてつもなく実感できる委員会を目指してまいります。

委員長 津田 政典  
副委員長 井口 剛  
総括幹事 永島 藤吾  
運営幹事 児嶋 健太郎  
会計幹事 福地 太郎  
広報幹事 馬渡 卓也  
今永 尚宏  
岸川 勝英  
国本 広次  
土田 敬博  
福田 衛  
松岡 弘一郎  
松島 邦彦  
柳澤 賢二

## ●事業計画

### ◆アジア協働を見据えた経済人育成事業の実施

〈目的〉アジア協働というステージにおいても活躍する事が出来る経済人を育成する事を目的とします。

〈方法〉アジア協働の中でも活躍出来る人材とは何かを調査・研究しつつ、方針に沿った形で、福岡フォーラム内において事業を実施致します。

### ◆送る夕べの企画・実施

〈目的〉本年度卒業される46年生の会員の功績を称え、新しい門出をお祝いする事を目的とします。

〈方法〉スムーズな事業実施のため46年会の運営補助をさせて頂きながら、懇親を深め、連絡を密に取ります。また事業では荘厳、且つ卒業される46年生の方々に参加頂いた特別会員、正会員の皆様がいしっかりと想いを伝え合い、会場全体でお祝いをする設営をいたします。

### ◆日本JC じゃがいもクラブ西日本地区大会に関する事項

〈目的〉日本JC じゃがいもクラブ西日本地区大会へ来て頂いた方々に心から楽しんで頂く。

〈方法〉全体を通じ、歓待の精神を持った運営設営と西日本を中心とした県内外からの参加者の皆様に福岡の良さを十分にアピール出来る設営を行います。

### ◆趣味の会に関する事項

〈目的〉特別会員と正会員のさらなる交流を深める事を目的とします。

〈方法〉じゃがいもクラブの設営・運営（年間4回開催）

### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡フォーラムを通して福岡JCの運動を広く発信する事を目的とします。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と連携し、経済人育成事業を実施します。

### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月			6月	□討議□審議□協議□審議 (経済人育成事業計画)	トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い 第2回「じゃがいもクラブ」開催
12月			7月		サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2010年					
1月		京都会議20日-23日	8月	□討議□協議□協議□協議(送る夕べ事業計画) □討議□討議□協議□審議(送る夕べ事前告知計画)	入会審査(後期)
2月		近出	9月	□討議□協議□協議□協議(送る夕べ事業計画) 事業実施(経済人育成事業)	経済人育成事業 第3回「じゃがいもクラブ」開催 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月		第3エリア合同例会	10月	□討議□審議□協議□審議 (送る夕べ事業計画)	広島定期交換会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□協議□協議□協議 (経済人育成事業計画)	入会審査(中期)、西日本地区じゃがいも 第1回「じゃがいもクラブ」開催 (西日本地区じゃがいも同日開催) APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□審議□協議□審議 (経済人育成事業報告)	
5月	□討議□協議□協議□協議 (経済人育成事業計画)	ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月	事業実施(送る夕べ事業)	第4回「じゃがいもクラブ」開催 入会審査(前期) 送る夕べ



室 長 橋 元 浩 司

## ●基本方針

福岡青年会議所への正式入会するにあたり重要な役割を果たすのが未来開発室の「拡大委員会」「研修委員会」です。

拡大委員会で、LOM全体の協力を仰ぎ、志しを同じくする若者へ入会を促し、研修委員会で福岡青年会議所への正式入会に向け理念や目的をしっかりと伝え活動に対する基礎づくりを行います。

また、拡大委員会はLOM窓口としての立場、研修委員会は人を指導する立場であり、各立場を理解し未来開発室一丸となり襟を正し一年間活動を行います。

# 未来開発室・研修委員会



## ■委員長スローガン 『ひとつづくり』

### ●基本方針

将来の福岡青年会議所を担うであろう人材の育成こそが、諸先輩方から受け継いだ伝統の伝承であると考え、「ひとつづくり」をテーマに委員会運営していきます。

仮入会者の皆様には、福岡青年会議所活動の素晴らしさ、また各個人においては何事にも目的意識をもって前向きな姿勢で取り組むことによって様々なチャンスに出会うことができるという素晴らしさをしっかりと理解していただき、入会後の青年会議所活動において、様々なことを学び取るために必要とされる基礎体力をつけていただきます。

研修委員会は、「ひとつづくり」をするための自分磨きを心がけ、JC 魂伝承のための究極の親ごころを追及していきます。まわりで起きていることすべてに感謝できる自分を育て、一生付き合える仲間をつくることのできる委員会を目指します。

委員長 下田 亨  
副委員長 宮田 昭雄  
総括幹事 夏山 孝司  
運営幹事 原田 良  
会計幹事 村山 幸範  
広報幹事 吉永 拓哉  
五十嵐 亮  
岩尾 一豊  
荻田 英二  
熊本 太郎  
瀬尾 浩之  
鶴 成次  
平木 康裕  
柚木崎 政和  
吉田 賢太郎

### ●事業計画

#### ◆仮入会者への指導・研修に関する事項

〈目的〉仮入会者が正会員にふさわしい人材となるよう指導・育成を行う。

〈方法〉規律あるオリエンテーションを行う。

#### ◆新入会者同期会事業に関する事項

〈目的〉入会后1年を経過したメンバーを祝福するとともに、新入会者の結束を深め、事業運営システムを理解してもらう。

〈方法〉新入会員による議案作成、上程に関しての指導を行う。

#### ◆やすらぎ荘 JC キャンプの企画・実施

〈目的〉新メンバーを中心として福祉やボランティアの意義を学ぶとともに、自己修練の場とする。

〈方法〉街頭募金および招待キャンプ事業を行う。

#### ◆こども会議イベントに関する事項

〈目的〉仮入会者にこども会議を通じて、福岡青年会議所活動の歴史および意義について理解を深めていただくとともに、自己修練の場とする。

〈方法〉仮入会者に積極的にこども会議に関わっていただく。

#### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡フォーラムを通して、福岡青年会議所活動を広く発信すること。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と連携し、積極的に運営支援を行う。

#### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月			6月		ところん事業実施(前期仮入会) 中期仮入会オリエンテーション② トリオ会議(福岡)、オールメンバーの集い
12月	□討議□審議 (前期仮入会オリエンテーション事業計画)	入会審査(前期)	7月	□討議□審議(後期仮入会オリエンテーション事業計画) □討議□討議□討議(ところん事業報告：前期仮入会)	中期仮入会オリエンテーション③ サマコン(横浜)16日-17日 こども会議、居酒屋の青春
2010年					
1月	□討議□討議□討議□討議 (ところん事業計画：後期仮入会)	前期仮入会オリエンテーション① 京都会議20日-23日	8月	□討議□審議(中期仮入会オリエンテーション事業報告) □討議□討議□討議(やすらぎ荘)JCキャンプ事業計画)	入会審査(後期)
2月		前期仮入会オリエンテーション② ところん事業実施(後期仮入会) 近出	9月	□討議□討議□討議□討議 (ところん事業計画：中期仮入会)	後期仮入会オリエンテーション① 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□討議□討議□討議(ところん事業報告：後期仮入会) □討議□審議(中期仮入会オリエンテーション事業計画)	前期仮入会オリエンテーション③ 第3エリア合同例会 居酒屋の青春	10月		後期仮入会オリエンテーション② ところん事業実施(中期仮入会) 広島定期交歓会(福岡)、やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月	□討議□審議 (前期仮入会オリエンテーション事業報告)	入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	□討議□討議□討議□討議 (ところん事業報告：中期仮入会)	後期仮入会オリエンテーション③ 居酒屋の青春
5月	□討議□討議□討議□討議 (ところん事業計画：前期仮入会)	中期仮入会オリエンテーション① ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月	□討議□審議(後期仮入会オリエンテーション事業報告) □討議□討議□討議□討議(やすらぎ荘)JCキャンプ事業報告)	入会審査(前期) 送る夕べ

# 未来開発室・拡大委員会



## ■委員長スローガン

『我々1人1人が、福岡JCの魅力を発信する広告塔。  
襟を正して、会員拡大!!』

## ●基本方針

私ども福岡青年会議所は、57年の歴史の中で、多くのメンバーが集い、知恵を出し合い、さまざまな偉業を成し遂げて来ました。今後もこの福岡青年会議所が永続的に多くの社会貢献活動を行っていく為には、また、本年度、アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためには、人財こそが必要不可欠であることは、言うまでもありません。そのためには、まず、「JC活動の原点は、拡大にあり」といった意識をLOMメンバー全員が改めて認識していただき、また、シニアクラブ及び卒業予定者との連携を図りながら、拡大活動を展開して参ります。

また、入会候補者から見れば、我々現役メンバーは、福岡青年会議所の窓口。言い換えれば、現役メンバーそれぞれが、福岡JCの広告塔と言っても過言ではありません。従いまして、この重要な責務を各メンバーが自覚を持って、先ずは、自身の襟を正し、福岡JCの魅力を対内外に発信し続けていきます。

拡大委員会は、メンバー同士の距離を近づけ、本音で語り合い、そこから、気付きや学びを得、1年間苦楽を共にしながら、一生付き合える仲間を各人がつくる事が出来得よう邁進して参ります。

## ●事業計画

### ◆会員拡大の推進

〈目的〉福岡青年会議所の発展と普及。

〈方法〉LOMメンバー全員に拡大の必要性を具体的に伝え、拡大活動がLOMにとって重要課題であることを認識して頂く。拡大活動の全体的サポートを行う。

- ・拡大ツールの配布
- ・各委員会で総括幹事が吸い上げた情報をLOM内で情報の共有化を図り候補者への有効的なアプローチを行う。
- ・LOMメンバーへの会員拡大運動の推進とサポート活動
- ・シニアクラブ及び卒業予定者との連携を図り会員拡大運動の促進

### ◆こども会議チャリティーゴルフの設営・運営

〈目的〉こども会議の運営支援及び幅広い交流の場とすること。

〈方法〉過去のチャリティーゴルフを参考にし、APCCと連携を図りチャリティーゴルフの設営を行う。

### ◆サマコン各種フォーラム・セミナーへの参加促進、LOMナイト企画・実施

〈目的〉日本青年会議所が開催する大会に参加する事により、青年会議所が全国規模でさまざまな活動をしている事、そして、LOM内のメンバーが、全国の広大なステージにおいて活躍している事、また無限の活躍が可能なステージが存在する事を認識して頂く事。また、日本青年会議所出向者への激励及びメンバー同士の懇親を深める事。

〈方法〉例会・委員会訪問を通じ、サマコンの重要性を伝えメンバーへの参加促進を行う。また、日本青年会議所活動を平日頃頑張っている出向者を慰労し、メンバー同士が楽しく懇親を図ることが出来るLOMナイトを企画・実施する。

### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡フォーラムを通して、福岡青年会議所活動を広く市民の皆様方に発信する事。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と連携を図り、委員会メンバーを巻き込み積極的に運営支援を行う。

### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新入会員の促進を行う。

委員長 新嶋 秀夫  
副委員長 野中 長武  
総括幹事 松本 佐知子  
運営幹事 清水 浩和  
会計幹事 森 崇紀  
広報幹事 吉村 友佑  
伊藤 忠相  
上木 裕寿  
川崎 健祐  
清田 和也  
芝原 正輝  
庄野崎 源太  
中野 雄将  
林田 太郎  
山田 勝彦

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2010年					
11月		次年度委員会メンバー顔合わせ APCC事務局訪問	6月	□討議□討議□討議□討議 (チャリティーゴルフ報告議案)	6月度委員会 サマコンの案内・参加促進 トリオ会議(福岡)、オールメンバーの集い
12月		こども会議第1回実行委員長小林申司 先輩訪問 (APCCチャリティーゴルフ)	7月		7月度委員会、サマコン現地調査 サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年					
1月		1月度委員会 第1回総括幹事拡大会議 京都会議20日-23日	8月		8月度委員会 入会審査(後期)
2月	□討議□討議□討議□討議 (チャリティーゴルフ事業計画)	2月度委員会(近出) APCCチャリティーゴルフの案内・参加促進	9月		9月度委員会 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月		3月度委員会 APCCチャリティーゴルフの案内・参加促進 第3エリア合同例会	10月		10月度委員会、広島定期交歓会(福岡) やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月		4月度委員会、入会審査(中期) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティーゴルフ22日	11月		11月度委員会
5月		5月度委員会 ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月		12月度委員会(送り出し) 入会審査(前期) 送る夕べ



室長 森山新樹

## ●基本方針

公益社団法人格の取得に向け、進化の一年であると思います。その中で総務室の職務は大きなものであり、決して揺らぐことのない土台である必要があります。新たな公益社団法人の第一歩に向け、今までの既成概念を突破し、新たな概念を作り出していく総務室として、挑戦していきましょう。

例会委員会では、理事長主催、メンバーの義務である例会を、いかに楽しみに、逆に緊張感を持って、企画・運営を行います。100% 例会の達成へ挑戦し、委員会の枠を超えてメンバーの成長が感じられる例会を設営します。そして公開例会では、多くの市民を巻き込み、青年会議所の会員拡大やブランディング向上の第一歩としても、例会の魅力を高めます。

総務財政委員会では、総務面として総会・理事会・常任理事会の円滑運営を行い、LOMの動きや決定事項の周知を徹底します。財政面として会費が公明正大に使われているかを精査し、公益法人としてコンプライアンスも含めたサポートを行っていきます。基軸となる委員会ですので、自信を持って全ての委員会と連携して取り組んでいきます。また、会員褒賞においては一年間の締め括りとして、互いの成長を讃え合える機会として、その魅力を高めます。

青年会議所の土台として、楽しみながら挑戦し、成長する様に、両委員長の「らしさ」を精一杯サポートしていきます。

# 総務室・例会委員会



■委員長スローガン

『成せば為る 成さねば為らぬ 何事も』

●基本方針

福岡青年会議所の会員ならば、毎月一度開催される“例会”に必ず出席しなければいけない義務を伴います。例会とは理事長の想い、所信に基づき全メンバーが LOM の方向性を確認、体感する大切な場であります。メンバーが例会の重要性を認識し積極的に出席することでもっと力強く、一枚岩の福岡青年会議所になると考えます。また、公益性の面から市民参加型の公開例会を実施し広く対外に発信することで、会員拡大やブランディング向上の手法としても努めて参ります。

当委員会は、メンバーがわくわくドキドキする様なそしてびりりと緊張感のある例会の設置、また全メンバーが集った 100% 例会を目指します。

委員会のメンバーがもっともっと熱くなるような心の通じあった人間関係を構築できる様に家族をも巻き込んで時間を共有して行きたいと思えます。最高の友情、最高の仲間、本当にこの委員会で良かった！福岡 JC に入会して良かった！と思える委員会運営を心掛けて行きます。

●事業計画

◆例会の企画・運営

□各種例会の実施

＜目的＞ 例会を通じて、理事長の想いを全会員に届ける。また会員相互の交流を図り、親睦を深める集いの場を設けるとともに、「FUKUOKA の明るい豊かな」まちづくりについて、市民とともに考察する機会を提供しつつ、会員拡大やブランディングに繋げる。

＜方法＞ 会員全員が参加したくなるような例会を設営し、各会員に参加促進活動を行う。

例会に参加したメンバーに対しスポットを当てる企画を行う。

FUKUOKA の「まちづくり」、将来のための「ひとづくり」の参考になる講師を招聘した公開例会を実施し、広く市民に発信する。

□福岡ブロック第 3 エリア合同例会の実施

＜目的＞ 第 3 エリア内の LOM との会員相互の交流を図り互いの JC 運動について理解を深める。

＜方法＞ 他 LOM の例会委員会と連携しながら互いの JC 運動が相互理解出来る様に発信する企画を行う。

□ファミリーレクリエーション例会の実施

＜目的＞ 普段から会員の JC 活動を支えていただいているご家族の皆様に JC 活動を理解していただく、そして「感謝」の気持ちを伝えると共に、家族同士の交流を図る。

＜方法＞ 多くの会員と家族が交流を楽しめるような親睦の場を企画し、設営する。

□福岡フォーラムに関する事項

＜目的＞ 福岡フォーラムを通して福岡 JC の運動を広く発信する。

＜方法＞ 福岡フォーラム特別委員会と連携し積極的に運営支援を行う。

◆会員拡大

＜目的＞ アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員による JC のネットワークの構築を目指す。

＜方法＞ 全会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

- 委員長 野中史晃
- 副委員長 大塚秀樹
- 総括幹事 井上猛
- 運営幹事 岡部英信
- 会計幹事 浦田純二
- 広報幹事 澤木亮治
- 岡本成史
- 金子智明
- 川上伸大
- 久保尊善
- 佐藤友紀
- 柴田慎
- 多賀谷兵馬
- 高山秀明
- 深堀通

委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2010年					
11月			6月	□討議□審議(7月度例会事業計画) □討議□協議(8月度例会事業計画) □討議□審議(4月度例会事業報告)	6月度例会(短縮) トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月	□討議□審議(新春例会事業計画) □討議□協議(2月度例会事業計画)		7月	□討議□審議(8月度例会事業計画) □討議□協議(9月度例会事業計画) □討議□審議(ファミリーレクリエーション例会事業報告)	7月度例会(公開) サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年			8月	□討議□審議(9月度例会事業計画) □討議□協議(10月度例会事業計画) □討議□審議(6月度例会事業報告)	8月度例会(公開) 入会審査(後期)
1月	□討議□審議(新春例会事業計画) □討議□協議(2月度例会事業計画) □討議□協議□協議(ファミリーレクリエーション例会)	新春例会 京都会議20日-23日	9月	□討議□審議(10月度例会事業計画) □討議□協議(11月度例会事業計画) □討議□審議(7月度例会事業報告)	9月度例会(短縮) 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
2月	□討議□審議(3月度例会事業計画) □討議□協議(4月度例会事業計画) □討議□協議□協議(ファミリーレクリエーション例会)	2月度例会(公開) 近出	10月	□討議□審議(11月度例会事業計画) □討議□協議(12月度例会事業計画) □討議□審議(8月度例会事業報告)	10月度例会(公開、やすらぎ荘JCキャン 広島定期交歓会(福岡) 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
3月	□討議□審議(4月度例会事業計画) □討議□審議□協議(ファミリーレクリエーション例会) □討議□審議(新春例会事業報告)	第3エリア合同例会	11月	□討議□審議(12月度例会事業計画) □討議□審議(9月度例会事業報告)	11月度例会(公開)
4月	□討議□協議(6月度例会事業計画) □討議□審議(2月度例会事業報告)	入会審査(中期)、4月度例会(公開) 西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	12月	□討議□審議(10月度例会事業報告)	12月度例会(短縮) 入会審査(前期) 送る夕べ、送り出し
5月	□討議□審議(6月度例会事業計画) □討議□協議(7月度例会事業計画) □討議□審議(3月度例会事業報告)	ファミリーレクリエーション例会 ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日			

# 総務室・総務財政委員会



## ■委員長スローガン

『メリハリを大切に。そして活動を楽しもう！』

## ●基本方針

総務財政委員会では、皆さんの貴重な会費が適正に使用されるよう、また、公益法人としてコンプライアンスについても厳正にチェックさせていただきます。理事会の運営では、厳正な雰囲気の中で効果的に執り行われるよう努めてまいります。

委員会では、メリハリをつけた活動を心がけ、1年間の委員会活動を通して個人一人一人が必ずスキルアップできるようにしっかりサポートしていきます。また、活動自体が委縮する事無く、夢のある発想で楽しいものになるように心掛け、何事にもメンバー全員で取り組める委員会を目指します。

## ●事業計画

### ◆総会、理事会、常任理事会の設営・運営

〈目的〉各会を効率的、有益性の高い会議を運営して、福岡青年会議所の意思を明確にする。

〈方法〉役割分担を明確にし、円滑な運営を行う。また、各会での議事内容を正確に残し、早めの配信を心がける。

### ◆役員、副、幹事セミナーの設営・運営

〈目的〉各会の運営方法、スタッフの役割を明確にし、活動の円滑化を図る。

〈方法〉セミナーマニュアルを作成し、セミナー内で全体概要とこれまでと違う点を説明する。

### ◆公益社団法人取得に関する事項

〈目的〉公益社団法人取得の対応と、LOM内の公益事業の推進を行う。

〈方法〉公益に事業が行われているかチェックを行う。

### ◆委員会事業に関する予算、決算の事前審査

〈目的〉会費を使って行われる事業予算が適正に使用、決算されているかを審査する。

〈方法〉議案に対して適正に予算の使用、決算処理されているかをメンバー全員でチェックする。

### ◆委員会事業に関するコンプライアンス審査

〈目的〉各事業において、遵守すべき法令に抵触しないよう注意を促し、事前に対応する。

〈方法〉対外の目に触れるものはすべてコンプライアンスチェックを行い、適切に処理されているかチェックを行う。

### ◆各委員会議事録、事業報告書の管理・保持

〈目的〉各委員会実施の状況を把握し、今後の参考資料になるよう管理・保持する。

〈方法〉各委員会からの提出状況を把握し、期日内提出を徹底する。

### ◆会員褒賞の企画・実施

〈目的〉1年間の活動が志高く充実したものになるよう各種褒賞を設定する。

〈方法〉会員の受賞意欲が高まり、積極的な活動となるような企画を考え実施する。

### ◆会員規律、入会に関する事項

〈目的〉会員の規律維持を徹底し、組織の永続性を図る。

〈方法〉正会員、賛助会員には規律徹底を促し、新入会員には入会審査時に分かりやすく説明する。

### ◆福岡フォーラムに関する事項

〈目的〉福岡フォーラムを通して、福岡JCの運動を広く発信すること。

〈方法〉福岡フォーラム特別委員会と連携し、積極的に運営支援を行う。

### ◆会員拡大

〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。

〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新会員の促進を行う。

委員長 阿部 剛 士  
副委員長 徳田 将 一  
総括幹事 久保田 大 輔  
運営幹事 浅香 祐 輔  
会計幹事 吉田 雄 介  
広報幹事 東野 茂 樹  
(出向理事) 柴田 耕 太 郎  
片岡 督 雄  
欽 宏 新  
最 所 靖 典  
白 水 剛 正  
永 野 泰 吾  
細川 日出光  
本村 弘 美  
山本 貴 紀  
宿久 徹 太 郎

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事		上程スケジュール	行 事
2009年					
11月			6月		議案審議、常任理事会・理事会運営 トリオ会議(福岡) オールメンバーの集い
12月		役員・副、幹事セミナー運営 議案審議	7月		議案審議、常任理事会・理事会運営 サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2010年					
1月	□討議□協議□協議□協議(褒賞要綱)	議案審議 常任理事会・理事会運営 京都会議20日-23日	8月		議案審議、常任理事会・理事会運営 入会審査(後期)
2月	□討議□審議□協議□審議(褒賞要綱)	議案審議 常任理事会・理事会・総会運営 近出	9月		議案審議、常任理事会・理事会運営 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月		第3エリア合同例会 議案審議、常任理事会・理事会運営	10月		議案審議、常任理事会・理事会・総会運営 広島定期交歓会(福岡)、やすらぎ荘JCキャンプ 世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月31日-11月6日
4月		入会審査(中期) 議案審議、常任理事会・理事会運営 西日本地区じゃがいも、APCCチャリティゴルフ	11月		議案審議、常任理事会・理事会運営
5月		議案審議、常任理事会・理事会運営 ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月		議案審議、常任理事会・理事会・総会運営 送り出し、入会審査(前期) 送るタベ

# 広報渉外特別委員会



## ■委員長スローガン 『より高みへ挑戦！』

### ●基本方針

私たち青年会議所は40歳で卒業という、絶えず新陳代謝と変化を繰り返し成長していく団体です。その為、過去の事業はもちろん、私たち福岡青年会議所（以下福岡JC）が今現在何を行っているのか、何を目標としているのかをリアルタイムに発信していく事が重要と考えます。また公益社団法人の取得を目指す上でも、対外的への積極的な情報公開・情報発信がこれまで以上に必要です。そして私たち福岡JCは「アジアへの拠点都市福岡」で活動する上で、当然私たちもアジア向けにこちらからアプローチしていかなければなりません。その為にも、国外に向けた情報の提供、マスメディアとのより密接な連携が重要となってきます。私たち広報渉外特別委員会は、従来の広報の固定観念にとらわれる事無く、様々な手法を検討し可能性を探り、メンバーの汗と想いがつまった事業を、そして先輩方が積み上げてきた偉大な足跡を、いかに効果的な形でまた分かりやすく「魅せる」のかを常に念頭におき情報発信を行います。また私たち福岡JCが創り上げたものを、より広く伝え深めていくには様々な団体・市民との連携・協力が必要です。その関係を築く為に、情報発信を行う当委員会が窓口となり対外との積極的な交流を図ります。そして例年、日本青年会議所・地区・ブロックへと出向するメンバーは、福岡JCの「顔」としてLOMを代表して遠く離れたそれぞれの場で活動しています。この出向メンバーの活躍もまた福岡青年会議所のブランディングの一翼を担っている事を忘れてはいけません。地理的な困難を顧みず活動する出向メンバーが、少しでも活動し易い環境を創るべく、当委員会は最大限の支援を行います。さらに、私たちがこれらの活動を行う新たな拠点を求める時に何が重要なのかを考えなければいけません。メンバーが、そして市民が集い、アジアの拠点都市福岡を創り上げる場として何が求められているかをより深く掘り下げ、魅力あるJC会館の取得を推進していきます。福岡JCの、そして我が街福岡の魅力とパワーを、九州に、日本に、そしてアジアに発信するために、2011年度広報渉外委員会は「より高みへ挑戦」し続けます。

### ●事業計画

- ◆LOM活動の効果的な情報発信に関する調査・研究及び実施
  - 〈目的〉福岡JCの理念・目的、そして現在に至るまで積み上げてきた歴史や活動内容、今後の事業などの情報を発信する事により、私たちの活動に対する一般市民の認知と理解を深め、福岡青年会議所のブランディング向上を目指す。またメンバーへ活動状況など各種情報を発信する事により、円滑な活動の支援と組織活性化を図る。
  - 〈方法〉
    - ・LOM ホームページの管理・運営
      - 日本青年会議所・他LOM及びその他ホームページを調査・研究を行い、スケジュールや議案のダウンロード機能などによるメンバーへのサポート機能や、アジアの各国からのアクセスに対応するべく情報の多言語化などを検討し、より効果的に進化させたホームページを作成する。また積極的な取材活動を行い内容を随時更新し、インターネットならではのリアルタイムな情報を発信する。
    - ・写真、映像の撮影並びに記録管理
      - 関係委員会と連絡を密にし事業への積極的な取材活動を行い、また各委員会の協力で得られたものを加えた画像や映像を当委員会一括管理する事により、円滑な活動の支援と記録集とする。
    - ・情報誌の検証及び発行
      - 福岡JCの過去の情報誌の検証の他、様々なLOMや団体の情報誌などの研究を行い、関係委員会と連絡を密にする事により、より魅力溢れる内容の情報誌を作成する。また設置場所・部数などの検証も重ね、より効果的な情報発信を行う。
- ◆LOM活動の効果的な対外情報発信に関する管理・統括
  - 〈目的〉福岡JCの事業・公開例会などの広報活動を集約し対外窓口となることにより、関係・協力団体・マスメディア・一般市民との密接な情報交換・関係強化を図り、より効率的効果的な情報発信を行なう。
  - 〈方法〉
    - ・公開例会の案内の強化
      - 関係委員会と連携し、福岡JCの事業や例会参加者の連絡先を集約・管理し、メールや郵送による事前告知などを行なう。
    - ・例会に関する対外発行物の製作
      - 例会に関する対外発行物制作の当委員会への一括管理により、LOMホームページなど他の情報発信手段と合わせ、より効果的な事前告知を行う。
    - ・プレスリリースの実施
      - 関係委員会と連携し、事業などのプレスリリースによる積極的な対外へのアプローチで、より広範囲への情報発信を行なう。
    - ・マスメディアとの意見交換会の実施
      - 各マスメディアとの意見交換会を開催し、各社との関係を深め福岡JCの今後の事業や広報活動に対する連携強化を図るとともに広報活動のノウハウを学ぶ機会とする。
- ◆渉外に関する事項
  - 〈目的〉関係諸団体など対外への窓口となり、福岡JCの活動への積極的な理解・協力を頂ける様な関係を築く。
  - 〈方法〉関係委員会と連携し、対外への積極的なアプローチにより交流を重ねる。
- ◆出向者支援に関する事項
  - 〈目的〉日本青年会議所・地区・ブロック出向者が万全の状態で行なうことができる環境をつくりあげる。
  - 〈方法〉出向者のスケジュール・行事・活動状況などを把握し、ホームページなどでリアルタイムに発信する事により、福岡JCメンバーの出向への理解を深める。また日本青年会議所セクターグループとして積極的に事業や会議に参加し、出向者への細やかなサポートを行なう。
- ◆JC会館に関する事項
  - 〈目的〉福岡JCの新しい活動拠点としてどのような形が望ましいのか研究を深める事により、メンバーが集い、アジアの拠点都市福岡のLOMに相応しい会館取得を推進する。
  - 〈方法〉過去2年間の資料をもとに引き続き検討・調査を行う。
- ◆褒賞申請の作成
  - 〈目的〉各種大会に褒賞申請を行うことにより、福岡JCの事業をより広い範囲に発信し、活動への理解と、ブランディング向上を目指す。また積極的に受賞を目指すことにより福岡JCメンバーのモチベーションUPへつなげる。
  - 〈方法〉過去のAWARD受賞事業を調査・研究し、より精度の高いプレゼン（申請）を行なう。
- ◆福岡フォーラムに関する事項
  - 〈目的〉福岡フォーラムに関する対外への窓口となり、積極的に情報発信する事により、フォーラムの認知度向上と集客UPにつなげる。
  - 〈方法〉情報誌発行とプレスリリースの開催によるマスメディアとの連携により、広範囲への事前告知を行なう。
- ◆会員拡大
  - 〈目的〉アジアを見据えた福岡のひと・まちづくりを実現させるためにより多くの会員によるJCのネットワークの構築を目指す。
  - 〈方法〉全正会員が会員拡大を意識し、具体的な情報を各委員会の総括幹事が取りまとめをする。その情報を拡大委員会主導で新入会員の促進を行う。

## 委員会年間スケジュール

	上程スケジュール	行 事	上程スケジュール	行 事
2010年				
11月			6月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 褒賞申請(全国大会AWARD2011) トリオ会議(福岡、オールメンバーの集い)
12月	□討議□討議(2011年度ホームページ事業計画)		7月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 サマコン(横浜)16日-17日 こども会議
2011年				
1月	□討議□審議(2011年度ホームページ事業計画) □討議□審議(例会年間広報計画)	ふくおか経済発行・ホームページ更新 事業実施(2011年度ホームページ事業計画) 情報誌の調査・研究、京都会議20日-23日	8月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 事業実施(情報誌発行事業計画) 入会審査(後期)
2月		ふくおか経済発行・ホームページ更新 情報誌の調査・研究 近出	9月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 福岡フォーラムプレスリリース 全国大会(名古屋)9月29日-10月2日
3月	□討議□協議□協議□協議 (情報誌発行事業計画)	ふくおか経済発行・ホームページ更新 第3エリア合同例会	10月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 広島定期交歓会(福岡)、やすらぎJCキャン プ世界会議(ベルギー・ブリュッセル)10月29日-11月5日
4月	□討議□協議□協議□協議 (情報誌発行事業計画)	ふくおか経済発行・ホームページ更新 入会審査(中期)、西日本地区じゃがいも APCCチャリティゴルフ	11月	ふくおか経済発行・ホームページ更新 事業実施(情報誌発行事業計画)
5月	□討議□審議□協議□審議 (情報誌発行事業計画)	ふくおか経済発行・ホームページ更新 ファミレク ASPAC(フィリピン・マニラ)26日-29日	12月	□討議□審議□協議□審議 (情報誌発行事業報告)
				ふくおか経済発行・ホームページ更新 入会審査(前期) 送るタペ

社団法人 福岡青年会議所  
2011年度 室・委員会 所務分掌規程

<p><b>■福岡フォーラム特別委員会</b> ◇出向者支援担当ブロック（福岡）</p>	<p><input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>メインフォーラムの企画・実施  <input type="checkbox"/>各委員会との連絡・調整・統括  <input type="checkbox"/>会場手配  <input type="checkbox"/>ASPAC への参加促進  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項  <small>※福岡フォーラム：福岡 JC の運動を広く発信する場です。特に各界を代表する講師をお招きして政治・経済・社会など様々なジャンルのフォーラム、セミナーを行います。</small></p>
<p><b>■福岡アジア協働推進室</b> ◇出向者支援担当ブロック（鹿児島）</p>	<p><b>■アジア経済協働推進委員会</b>  <input type="checkbox"/>東アジアとの関係構築による成長戦略の研究及び発信  <input type="checkbox"/>特区構想の研究及び発信  <input type="checkbox"/>香港シティ JC に関する事項  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p> <p><b>■アジア誘客推進委員会</b>  <input type="checkbox"/>国内外からの誘客増加を目的とする調査・研究及び発信  <input type="checkbox"/>釜山・ソウルミッション企画・実施  <input type="checkbox"/>トリオ JC に関する事項  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p>
<p><b>■エンターテイメントシティ創造室</b> ◇出向者支援担当ブロック（大分）</p>	<p><b>■食文化創造委員会</b>  <input type="checkbox"/>食を通じた地域活性化となる事業の実施  <input type="checkbox"/>九州地区大会への参加促進  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>エンターテイメントシティプロジェクトへの支援に関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p> <p><b>■スポーツ文化創造委員会</b>  <input type="checkbox"/>スポーツを通じた地域活性化事業の実施  <input type="checkbox"/>アジアシティマラソン（仮称）の企画・実施  <input type="checkbox"/>福岡のスポーツ事業の支援に関する事項  <input type="checkbox"/>福岡ブロック大会への参加促進  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>エンターテイメントシティプロジェクトへの支援に関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p> <p><b>■芸術文化創造委員会</b>  <input type="checkbox"/>芸術文化を通じた地域活性化となる事業の実施  <input type="checkbox"/>全国大会への参加促進、LOM ナイト企画・実施  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>エンターテイメントシティプロジェクトへの支援に関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p>
<p><b>■未来育成室</b> ◇出向者支援担当ブロック（佐賀）</p>	<p><b>■国際人育成委員会</b>  <input type="checkbox"/>アジア協働を見据えた国際人育成事業の実施  <input type="checkbox"/>世界会議への参加促進  <input type="checkbox"/>広島 JC との交流に関する事項  <input type="checkbox"/>日本 JC じゃがいもクラブ西日本地区大会に関する事項  <input type="checkbox"/>大会本部運営・総務・全体統括に関する事項  <input type="checkbox"/>趣味の会に関する事項  <input type="checkbox"/>迷球会の運営補助（第3エリア野球大会主管）  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p> <p><b>■青少年育成委員会</b>  <input type="checkbox"/>アジア協働を見据えた青少年育成事業の実施  <input type="checkbox"/>オールメンバーの集いの企画・実施  <input type="checkbox"/>シニアクラブに関する事項  <input type="checkbox"/>日本 JC じゃがいもクラブ西日本地区大会に関する事項  <input type="checkbox"/>広報・渉外・宿泊に関する事項  <input type="checkbox"/>趣味の会に関する事項  <input type="checkbox"/>ノーサイドクラブ・F J C PONZ  <input type="checkbox"/>ぼうふら会の運営補助  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p> <p><b>■経済人育成委員会</b>  <input type="checkbox"/>アジア協働を見据えた経済人育成事業の実施  <input type="checkbox"/>送る夕べの企画・実施  <input type="checkbox"/>日本 JC じゃがいもクラブ西日本地区大会に関する事項  <input type="checkbox"/>競技・運営に関する事項  <input type="checkbox"/>趣味の会に関する事項  <input type="checkbox"/>じゃがいもクラブの設営・運営  <input type="checkbox"/>福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/>会員拡大に関する事項</p>

<p><b>■未来開発室</b> ◇出向者支援担当ブロック（宮崎・熊本）</p>	<p><b>■研修委員会</b>  <input type="checkbox"/> 仮入会者への指導・研修に関する事項  <input type="checkbox"/> 新入会者同期会事業に関する事項  <input type="checkbox"/> やすらぎ荘 JC キャンプの企画・実施  <input type="checkbox"/> こども会議イベントに関する事項  <input type="checkbox"/> 福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/> 会員拡大に関する事項</p>
<p><b>■総務室</b> ◇出向者支援担当ブロック（長崎）</p>	<p><b>■拡大委員会</b>  <input type="checkbox"/> 会員拡大の推進  <input type="checkbox"/> こども会議チャリティーゴルフの運営・設営  <input type="checkbox"/> サマコン各種フォーラム・セミナーへの参加促進、LOM ナイト企画・実施  <input type="checkbox"/> 福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/> 会員拡大に関する事項</p> <p><b>■例会委員会</b>  <input type="checkbox"/> 各種例会の企画・実施              ◇徹底的な検証による新しい例会の創造  <input type="checkbox"/> 福岡ブロック第3エリア合同例会の実施  <input type="checkbox"/> ファミリーレクリエーション例会の実施  <input type="checkbox"/> 福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/> 会員拡大に関する事項</p> <p><b>■総務財政委員会</b>  <input type="checkbox"/> 総会、理事会、常任理事会の設営・運営  <input type="checkbox"/> 役員、副、幹事セミナーの設営・運営  <input type="checkbox"/> 公益社団法人取得に関する事項  <input type="checkbox"/> 委員会事業に関する予算、決算の事前審査  <input type="checkbox"/> 委員会事業に関するコンプライアンス審査  <input type="checkbox"/> 各委員会議事録、事業報告書の管理・保持  <input type="checkbox"/> 会員褒賞の企画・実施  <input type="checkbox"/> 会員規律、入会に関する事項  <input type="checkbox"/> 福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/> 会員拡大に関する事項</p>
<p><b>■広報渉外特別委員会</b></p>	<p><input type="checkbox"/> LOM 活動の効果的な情報発信に関する調査・研究及び実施              ◇ LOM ホームページの管理・運営              ◇ 写真、映像の撮影並びに記録管理              ◇ 情報誌の検証及び発行  <input type="checkbox"/> LOM 活動の効果的な対外情報発信に関する管理・統括              ◇ 公開例会の案内の強化              ◇ 例会に関する対外発行物の製作              ◇ プレスリリースの実施              ◇ マスメディアとの意見交換会の実施  <input type="checkbox"/> 渉外に関する事項  <input type="checkbox"/> 出向者支援に関する事項  <input type="checkbox"/> JC 会館に関する事項  <input type="checkbox"/> 褒賞申請の作成  <input type="checkbox"/> 福岡フォーラムに関する事項  <input type="checkbox"/> 会員拡大に関する事項</p>

----- 参考資料 -----

社団法人 福岡青年会議所 2011 年度  
事務局長・常務理事・理事長補佐 所務分掌

<p><b>事務局長</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 外部団体出向、後援依頼の調査、確認に関する事項  <input type="checkbox"/> 会員名簿、名刺、ネームプレートの作成に関する事項  <input type="checkbox"/> 事務局の運営  <input type="checkbox"/> 常務理事・理事長補佐の統括  <input type="checkbox"/> その他</p>
<p><b>常務理事</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 理事長の同行及び所務の補佐  <input type="checkbox"/> 専務理事、事務局長のサポート  <input type="checkbox"/> 理事長のスケジュール管理、調整に関する事項  <input type="checkbox"/> 京都会議参加要請・LOM ナイト企画・設営  <input type="checkbox"/> その他</p>
<p><b>理事長補佐</b></p>	<p><input type="checkbox"/> 理事長の同行及び所務の補佐  <input type="checkbox"/> 京都会議参加要請・LOM ナイト企画・設営  <input type="checkbox"/> その他</p>